

巖 神 青

【内 容】

- ・第六回親子禊錬成会開催
- ・事業米奉獻出雲旅行開催
- ・東北六県禊錬成会参加
- ・震災復興支援活動
- ・鵜住神社地鎮祭助勢
- ・関口神社餅つき助勢
- ・岩手護國神社戦没者追悼
平和祈願祭助勢
- ・第一回役員会開催
- ・暑気払い会開催
- ・事業頒布品頒布活動
- ・田村宮司県議選挙支援活動報告
- ・六十五周年事業完遂報告
- ・役員インタビュー
- ・下半期事業計画

第六回親子禊錬成会開催



二十七名の児童の参加のもと、八月十一日（火）、第六回を数える「親子禊錬成会」が岩手県神社庁・岩手護國神社・そして築川を会場に開催された。新山参事様を来賓に迎え、開講式を執り行い、早速護國神社へ参

進し正式参拝を執り行う。修祓の後菅原会長と児童代表が玉串を奉って、七十年前へ思いを馳せた。神社庁へ戻り、第一講は当会副会長の菅村孝一郎先生より「日本の神様について」と題してお話を賜った。菅村先生は、神話をひもときながら、いかに回りの目に見えない神様に生かされているか”に気づき、感謝の心を持って生活して欲しいと語りかけていた。



第二講では当会常任委員の千葉浩之先生が「護國神社の神様」と題してお話し、先に参拝した護國神社に祀られていた神様がどのようにな御存在が説明し、今の平和な日本があるのは御英霊のお陰であり、感謝の心を忘れてはいけなと締めく

くった。
第三講はお待ちかねの「禊」。引き続き千葉先生が担当し、ただの水遊びではなく、心と体を綺麗にする方法だとして説明頂いた。鳥舟行事などを行って動。川に入り、水の流れが若く速く足を取られる姿も見られる中、立派に禊を執り行うことが出来た。今回初めて道彦を努められた千葉先生には、大変ご苦労様でした。



禊でお腹がすいた後は、会員手作りのハヤシライスでお腹を満たす。隠し味にワインを付けた子供・会員絶妙な味付けに子供・会員一同無言でスプーンを口に運ぶ。満腹になった後は、腹ごなしのレクリエーション。花輪地区委員の担当の元、水風船を割らないよう、水風船を割らないよう、

うにキャッチボールをしたり、大きなシャボン玉を作ったりなど、各自大いに楽しんでいた。最後は花輪会員をめぐり、水風船の投げ合いが始まり、水もしたる、男も楽しそうだった。夏らしき満点のかき氷やスイカにも舌鼓を打ち、子供達の歓声響き渡る中、レクも



お開きに。レクが終わった後は閉講式を執り行い、児童一人一人に修了証を手渡し、来年の再会を誓って解散となった。会場をお貸しくださった神社庁様、岩手護国神社様には大変有り難く御礼申し上げます。当日の運営に協力頂いた会員はもちろんのこと、準備等にご尽力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

創立六十五周年記念事業
事業米奉献出雲大社参拝旅行開催

七月二十七日(月)二十
八日(火)にかけて、岩神青
創立六十五周年記念事業
「出雲大社への事業米奉献
参拝旅行」が開催された。参
台風十二号が島根県に迫り
開催が危ぶまれたものの、当
日の朝熱帯低気圧に変わ
り、無事に出発することが
出来た。出雲縁結び空港へ
降り立つと、幸運にも雨こ
そ降っていいもの、湿度
風の影、早速レンタカ二
台に高い。早速レンタカ二
旅へと繰り出す。まず神
魂(かもす)神社へ。ここは
最古の大社造りが現存する
お社で、荒木先輩のご学友
にお社で、荒木先輩のご学友
大社、その後八重垣神社に
続くと自由参拝。どの御社
殿も向拝に鈴が付いていな
い点が印象的だった。宿、
雲口イタルホテル。ホテル
で着替えを済ませた後、島

根青神との懇親会会場へと
タクシーで移動。「神門」と
加うる酒屋で約二十名の参
権禰宜様のご挨拶を頂き、
乾杯を執り行つて懇親を深
め合った。その後二次会、締
めのラーメンと島根青神の
方々にはご案内頂いて、懇
親を深めあいながら出雲の
夜は更けていった。



二日目。日御碕神社へ自
由参拝の後、出雲大社へ正
式参拝。芳名帳に記帳の後、
川谷総務部長様からご挨拶
賜り、金子権禰宜の案内の
元正式参拝。岩手から持参
した六十五周年事業米と奉

土雲に腹り込感しをもをでオ食につにい見学雲内うだ災ののとに社敬にも境金子正式が献
産大平になむ一にいてか頂く、カスメの時間少解細芸博物をれ募の守札ご持で者にも内子参玉酒
物社成のなむ一同会話、今み煮カツ井の間の出雲大遷宮を案権参串奉
横門前大遷宮は、腹能藁も歯も忘れた衣系蕎麦の信の裏の殿宜後奉納
町で整備を機に、腹ごなし藁も歯も忘れた衣系蕎麦の信の裏の殿宜後奉納
で散策。若者向藁も歯も忘れた衣系蕎麦の信の裏の殿宜後奉納



けのおしやれな店が軒を連
ね、若い方々や外国の方の
姿も多く見かけます。蘇りの
大遷宮という言葉はまさに
遷宮を端的に言い得ている
のだと実感した。せつとも
出雲にきたのだから、そ
一軒「羽根屋」というそば屋
へ。出雲蕎麦は三段に分か
れて出されるが、満腹の
我々は一段だけ注文。ここ
らの蕎麦も絶品。ここで時
間もなく、空港へ一路
ひた走る。出雲から名古屋
名古屋から花巻という帰
の飛行機も、来るときの飛
行機と同じ、そして添乗員
も同じというミラクル。縁
結びの御神徳の絶大さを実
感した帰路だった。



六月十七日、十八日に山
形県天童市の天童ホテルに
於いて東北六県神道青年協
議会総練成会が執り行われ
た。本年の参加者は総数九
十六名。当県からは十四名
が参加した。
一日目の第一講は「日本
人と暦の祀りと祭りに欠か
せない暦の役目」と題し
暦作家・暦法研究家の井上
象英先生を招き神社の祭り
と暦の関わりや日本書紀と
暦の関係など講義頂いた。
第二講では東根市の大滝
に会場を移し禊を行った。
素晴らしい景色の中、清々
しく禊が出来たのではない

東北六県禊練成会参加

御奉迎、御奉送に山形県神
道青年会・宮城県神道青年
協議会の会員と共に参加。
貴重な体験が出来たことに
心より感謝したい。



だろなか。心身共に穢れが
祓われたと信じ懇親会へ。
山形県内の地酒を数多く用
意頂き、会員皆が懇親を深
める事が出来たと感じた。
二日目の第三講は初の試
みとして、渋谷宣寛山形県
神社庁長を講師に各単位会
の教化活動報告が行われた。
各県で様々な事業が開催さ
れていて、事を知る良い機
となった。当県では小保内
副会長、花輪地区委員が親
子の集め方について発表。子供達
いた。禊練成会后、谷地八幡宮
に移動。天皇后両陛下の



七月十七日、釜石市鵜住居地区学校等建設安全祈願祭が当地区委員鵜住居神社花輪宗嗣宮司の斎主により執り行われることとなり、助勢活動を行った。当日は施主である釜石市の市長をはじめ、設計施工関係者約八十五名の参列で祭儀が執り行われた。祭儀は肅々と執り行われ、滞ることなく納めることが出来た。先の東日本大震災からの復興が、この釜石市鵜住居地区学校等の建設により、更に加速することを期待したい。

復興支援活動
鵜住居神社地鎮祭助勢活動



七月四日下閉伊郡山田町鎮座、関口神社において復興祈願餅つき、販売の助勢を行った。当日は朝から曇り空で雨も心配されたがその後天候も回復し無事に餅つきができた。

復興支援活動
関口神社餅つき助勢活動

参加会員は小保内副会長、小野寺事務局長、花輪



地区委員、橋本書記の四名に加え、青森県神道青年会より会長はじめ四名の助勢を頂いた。内容としては、午前十一時に集合、餅をつき、切り餅にしてゴマダレをかけ、パックに詰め、販売。宮司さん、総代さん方のご指導のもと夕方まで作業し、およそ一五〇パックが完売した。時より、お参りに来ていた子供たちも加わり餅つきをする場面も見られ、皆、笑顔が溢れていた。夜八時頃に解散となった。

八月十五日。朝から雨が降り天候が心配される中、八時半に盛岡八幡宮社務所に集合し、説明を受け準備作業に移る。準備作業は、スラムズに準備作業を行うことが出来た。大前に神饌を供え、社殿の扉を外し、椅



岩手護國神社戦没者追悼
平和祈願祭助勢

子を並べ、旗を揚げ、祭場を補設し、受付の机や椅子を並べ、習礼を綿密に執り行う。一通り準備作業が終った後、受付にて神道青年全国協議会並びに岩手県神道青年会よりの玉串料をお渡しし、時間まで待機。十一時から各自随時手水を取り、菅村副会長の先導の元参進開始。修祓の後天皇陛下のお言葉を拝聴する。献饌の後天皇陛下よりの幣帛及び本庁幣をご神前にお進めし、宮司が祝詞を奏上した。祝詞奏上終わって、英霊にこたえる会岩手県本部会長が祭文を奏上し、火焚神事に移る。菅原会長が陰灯を手に持ち、拝殿前の火焚串に点火。祭員の大祓詞が響き渡る中参列者が残りの火焚串をくべ、それぞれ祈りを捧げた。火焚神事の後は、宮司玉串拝礼に続き、参列者が玉串を奉りて拝礼。神饌を撤して納めの一拝を行い、無事祭典を終えることが出来た。

昼食を頂いた後は片付けを行う。片付けの最中にわか雨が降り始め、テントは足を下げるのみとしたものの、椅子や旗などは無事片付けすることが出来た。祭

典中に雨が降らなかったことは奇跡に近く、御英霊のご加護を感じずにはいられなかった。

この貴重な機会を与えて下さった岩手護國神社様には、心よりの感謝を表したいと思う。また祭典中の写真を提供下さった澤目権禰宜さまにも感謝申し上げる次第である。

第一回役員会開催並びに
護国神社清掃奉仕作業実施



六月二十五日、盛岡八幡宮にて第一回役員会が開催された。本年は終戦七十年にあたり、英霊に感謝の誠

を捧げるべく役員会開催ごと
に護國神社の清掃奉仕活
動をすることに決定してい
たが、当日は天候にも恵ま
れ、除草作業（草とり）を
中心とした清掃奉仕活動を
凡そ一時間かけて行つた。

その後の役員会では、上
半期事業や今年第六回を迎
える親子禊錬成会の開催の
件を中心に積極的な協議が
行われ、充実した内容とな



った。また、役員会後の懇親会は串焼きダイニング「えびすけ」で行われ、役員の懇親が深められた。

暑気払い会開催

八月二十二日、当会の暑氣払いが北上市の「風土」にて開催された。来賓に神社庁長様はじめ多数の神社関係者様、そして今回初めて衆議院議員藤原崇様はじめ政界関係者様のご臨席を賜り、貴重な交流の機会となった。



参加青年会員は政界関係者との交流を通じ、国政を身近に感じ、政治と日本の未来について熱く語り合い、夜は更けていった。



事業頒布品頒布活動実施

八月二十五日、渡り温泉で開催された神社関係者大会において、当会事業頒布品頒布活動を行った。多くの会員のご協力の下、例年以上の頒布を行うことが出来た。感謝申し上げる次第である。

志賀理和氣神社宮司田村勝則様県議選挙に拘わる時局対策支援活動を振り返って

時局対策委員長 鈴木 都宏

先ず以て、田村勝則先輩におかれましては、先の県議会議員選挙におかれまして、見事に当選の誉れを得られましたこと衷心よりお祝い申し上げます。



さて、この度の青年隊活動は八月十八日から九月三日迄の約二週間、総勢四十名での支援活動となりました。活動内容と致しましては、ポスティング・後援会入会者への電話依頼・選挙遊説後方車運



転やアナウンスなどの活動をさせて頂きましたが、昨年経験させて頂きました衆議院議員選挙とは違い、地元密着選挙でもあり又、神職として初の県議会議員誕生と言った偉業達成も兼ねておりましたので、我々青年隊は選挙スタッフの方々と一致団結し、田村勝則先輩を「県政へ」の言葉を胸に微力ながら活動させて頂きました。開票当日は、会場に設置されたテレビを皆さんでかじりつくように見ておりました。

だが、当確の吉報が入った時の盛り上がりは、今も脳裏に焼き付いております。田村勝則先輩におかれましては、もう既に県議としての公務を始められていることと存じますが、神職と県議両方を全うする為にもお体には十分にお気を付けいただければと思うところであります。



結びに、時節柄社務ご多用の折に支援活動にご協力頂きました青年隊の皆様へ、厚くお礼を申し上げ結びとさせて頂きます。本当にお疲れ様でした。

六十五周年記念事業完遂にあたり
六十五周年実行委員長 菅原 政憲

稲穂が撓わに稔る
美しい姿。その姿は
確かに子供達の心
へと刻まれたはず
です。

加の今、状況、活動の多様化が著しく、時局の変化に対応力や瞬発力が求められる中、で先輩方から受け継がれる「思い」と誇りを次の世代へと確実にいかすための「例」が少ないと、五周年の開催とさせて頂きまし

主題には「繫心〜未来へ
繋ぐ心とところ」と題し、
我々神職の最も大切な務め
は「祈り」であり、心の荒廃
が叫ばれる今、心の拠りと
しての神道、神社の役割が
重要視され、未曾有の東日
本大震災から本来の美しい
姿を取り戻すために邁進す
る中で、神社祭祀を守り伝
えることこそが被災地の活
性、日本再生の一助となる
と考えました。

その中で記念事業として
「瑞穂の国復興米づくり」
と掲げ、北上市鎮座稲葉神
社の御神田をお借りし、神
職子弟を始めとする子供達
と共に祈りや感謝の祭祀に
触れながら一年を通じた米
作りを行いました。美しい

えた稲穂は懸税として伊勢
 の神宮へ、また参拝旅行と
 して六十年に一度の御遷宮
 を迎へられた出雲大社へ会
 員自らの手で奉獻させて頂
 きました。県内に於いては
 復興の思いを添えて被災支
 部の全ての本務神社とお
 送りさせて頂き、神社諸祭
 儀にて御神前にお供へ頂け
 たことと思ひます。

記念講演では、公益社団法人日本青年会議所主権国家確立委員会副委員長岩澤あゆみ先生をお招きし、今我が国の豊かで美しい領土領海が近隣諸国により脅かされ失われつつある中で、確かな知識と問題意識を醸成しそれらの問題へ毅然として向き合うために「領土・領海意識醸成プログラム」を御講演頂きました。参加者全員が日本人として神代から受け継いできたこの国土をその姿のまま受け継いでいく事、美しい心と共に繋いでいく使命を担っていることを改めて認識されたのではないでしょうか。

記念祝賀会には歴代会長

県内神職、また全国各地より御来賓の皆様をお迎えし、青年会当時の思い出話等に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中、盛大に執り行うことが出来ました。



日本人として生まれてきた自覚と誇り、我が国の美しい心と豊かな自然。それは私達自らの手で守り受け継いでいかなければなりません。この周年を契機に、当会が更に飛躍、発展すること、守るべきものを守るために、強い繋いだその力を遺憾なく発揮することを誓います。

末筆ながら今年に多大な御協力を賜りました先輩

諸賢の皆様を始め御関係皆
様方に心より篤く御礼を申
し上げますと共に、今後も
変わらぬ御指導御鞭撻を賜
りますようお願い申し上げ
ます。周年事業完了の御報
告とさせていただきます。



米作りでお世話になった菊池
宮司様に、事業の完了を報告し
感謝状を贈呈致しました

新役員
インタビュー

【項目】①名前②役職③所属支部④奉務神社⑤独身⑥趣味⑦好きな芸能人⑧休日の過ごし方⑨神明奉仕にあたる心かけた本座の銘⑩影響を受けた本座の銘⑪座の銘⑫あなにとつてズバリ神道とは？⑬青年会に期待する点⑭こんな活動がしたい！⑮役職就任にあたり抱負を

一言

▼①吉田浩明（よしだひろあき）②顧問③花巻支部④熊野神社⑤既婚（子供一人）⑥映画鑑賞⑦Zealios⑧旅行（願望）⑨初心を忘れない⑩『歴史とは何か（エカ）』著『神主の信と学（櫻井勝之進著）』⑪清新⑫神々を信仰すること⑬⑭⑮新体制が、更に同世代の青年神職の連携と切磋琢磨をもつて、斯界の発展に寄与することを見守る

▼①伊藤幸夫（いとうさちお）②顧問③北上和賀郡支部④幸神社⑤独身⑥モータースポーツ⑦Zealios⑧百姓県内神社参拝⑨基本⑩思いつかない⑪ひたすらに⑫むずかしい⑬会長を中心に⑭内若手神職を盛り上げても⑮若手神職を盛り上げて⑯支えてほしい⑰菅原会長を支えていければ

▼①鈴木都宏（すずきくにひろ）②常任委員・時局対策委員長③上閉伊支部④石上神社⑤既婚（子供一人）⑥野球・釣り（海・川）・山菜採り⑦ポルノグラフィティ・大黒摩季⑧奉務神社の境内

清掃⑨丁寧⑩『嫌われる勇氣』⑪歳月人を待たず⑫日本人の暮らし⑬一致団結しひたすらに⑭縄奉製講習会⑮この度は、時局対策委員長役職を仰せつかり、身の引き締まる思いでありますが、役員・会員の協力の下しつかりと活動して行きます。

▼①多田宜史（ただよしふみ）②常任委員・広報委員長③上閉伊支部④遠野郷八幡宮⑤既婚（長女・次女・三女）⑥弓道・読書・カメラ・猫と遊ぶ⑦堺雅人・宗次郎・Bunatashin⑧娘達と遊ぶ⑨遠野の風景を写真に撮る⑩ひとつひとつの作法をおろそかにしないこと⑪古典なら『遠野物語』神道書籍なら『神道原論（谷省吾著）』マンガなら『拳児』⑫天地ノ初ハ今日ヲ始トスル（北畠親房「神皇正統記」）神主は高尚な乞食である（祖父の言葉）⑬清明正直の実践・天皇陛下の御行為そのもの⑭相互交流⑮他宗教団体青年部との交流・カルト宗教対策講習会⑯「巖神青」を相互交流のツールとして使つても、らえるよう頑張ります

▼①千葉浩之（ちばひろゆき）②常任委員・事業委員長③九戸郡支部④九戸神社（本務）、盛岡八幡宮（兼務）⑤既婚（長男、次男、長女）⑥温泉⑦いきものガカリ⑧家族で買い物やスポーツ⑨参拝者が神社の神聖さと鎮守の森の安らぎを感じ、自然と笑顔になる心の拠り所となるように考える⑩『緋色の研究』⑪神人と楽⑫日本人として本来あるべき姿⑬全会員各々が高い意識を持つた積極的な活動参加。将来を見据えた会員相互のネットワークの構築⑭高校生や中学生などこれから社会に出て行く世代との交流や外国人との異文化交流⑮従来の事業頒布品活動を基とした頒布活動を模索し、更なる増頒布を目指していきたい

▼①小野寺康（おののでらやすし）②事務局③西磐井支部④八幡神社⑤独身⑥思考するコト⑦イチロー・羽

生善治・椎名林檎⑧ポーツと過ぐす⑨明浄正直⑩『直日霊（本居宣長）』⑪ただひたすらに⑫清浄⑬主体的な積極性⑭神道教化につながる活動・会員親睦⑮職務遂行

※役員の皆様にはインタビューの提出にご協力をお願いいたします！

【下半期事業計画 十月～】
十月下旬 盛岡少年刑務所収獲感謝祭
十一月 盛岡少年院収獲感謝祭
十一月 会員懇親会
一月 第三回役員会
二月 建国記念の日奉祝活動
三月 青年神職研修会

【編集後記】
前号を発行してからあつという間の四ヶ月でした。一大行事である親子禊錬成会をはじめ行事が多く、紙面の量も増えてしまい、目を通すのも一苦勞かと拝察します。ここまで読んで頂き、感謝致します。（宜）

発行 岩手県神道青年会
住所 一関市釣山一九 八幡神社社務所内
電話・FAX 〇一九一―二三―二九〇六